

新宮山彦ぐるーぷ第2054回

子ノ泊山登山道整備など

◇実施日；2019年11月20日(水) 晴

◇参加者；沖崎吉信、山川治雄、梶野照雄 (3名)

令和2年の1月に登山が予定されている子ノ泊山だが、先日山川さんから「登山道を整備したい」とのお話があったので、連絡を取って日帰りで登ることになった。その後、沖崎さんも荷揚げ品があるので参加すると電話を頂き、参加者は3名になった。

午前5時に家を出る。十津川の道の駅と熊野川の道の駅で休憩して9時少し前に沖崎さん宅に到着、沖崎車に同乗して桐原集落に向かう。桐原の三差路で山川さんと出会い登山口を目指した。



道の駅のモニユメント



子ノ泊山桐原登山口



消防車両が駐車

桐原の登山口に10時に到着。登山口前の空き地に消防車両が停まっていた。ここに山川車を停めて、沖崎車で尾根登山口に向かった。



登山口まで歩く



尾根登山口



落ちた標識を付け直す



ノコで倒木切除



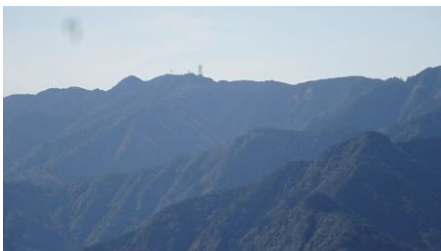
山彦新道閉鎖の看板



ヤケ峠から熊野川

10分ほどで尾根登山口に着く。こちら側にも消防車両が駐車して

いるので、両方の登山口から消防署員が登っているようだ。登山口から少し先の広くなった道路脇に車を止めて歩き始めた。桐原登山口は道路から見る限りかなりの急登だったが、尾根登山口からの登山道は急登と言うほどではなかった。



玉置山

山頂直下

子ノ泊山山頂に到着

沖崎さんは標識用の杭を担いでいる。山川さんと私が枝打ち鎌で登山道に伸びている枝を切りながら進んだ。2〜3年は整備されていないようで、小さな枝が伸び放題になっていて、登るスピードは上がらない。随所にピンクのテープが付けられていたが、その新しさから消防署員が付けていったものと思われた。

落ちていた標識を付け直すなどをして、一時間掛かって尾根に到着。ヤケ峠を経由して山頂を目指した。12時少し前にヤケ峠到着。左に熊野灘、右手に玉置山が良く見えていた。眺望の妨げになっていない木をノコで切って登山道に戻った。ヤケ峠の分岐から40分強で山頂に到着、ちょうど一時だった。山頂では一人の登山者が休憩中。



笠捨山、釈迦ヶ岳

熊野灘

本日の参加者

山頂からは、笠捨山や釈迦ヶ岳、七里御浜が望まれた。昼食後、付近の雑木を20本ほどノコで切除して眺望を広げ、2時丁度に下山を開始した。

15分ほど下った所で、「車のキーが無い」と山川さんが言い出した。ポケットにもザックにも見当たらない。山川さんは先頭で歩いていたので、途中で落としたなら後続者が気付くはずだ。車が気になるのか、山川さんは急いで下山され、沖崎さんも後に続いた。私は枝を切りながら普通のスピードで下る。

山頂から一時間で桐原登山口に降り立った。急な下りの連続で、平坦な部分は殆ど無かった。このルートに登りに使うと時間は短縮できるが、足への負担は大きいように思えた。

登山口には消防車両も山川車も無かった。車のキーは見つかったようだ。10分ほど待っていると山川、沖崎の2台が戻ってきた。ドアのカギ穴にキーを差し込んだまま残して来たようで、カギはロッ



クサれていたらしい。ヤレヤレ一件落着で帰路についた。

(記・梶野)



子ノ泊山 桐原登山口

本日のルート (右回り)

## 行動タイム

新宮09:00→10:00 桐原登山口↓尾根登山口 10:12→11:52 山彦  
新道分岐↓12:02 ヤケ峠↓13:00 子ノ泊山山頂 14:00→15:30 桐  
原登山口